

教職論(幼・小)

科目ナンバリング ESS-101
選択 2単位

山田 茂利

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、教職に関する関心を高め、基礎的な理解を深めるとともに、自己の適性について洞察し、教職に対する態度形成を図り、自分は教職課程の履修を続けるべきかどうかを的確に判断できる力をつけることを目指している。

そのため、学校教育と教職の意義、教師の役割、職務内容、研修等について、その歴史、理念、制度、実態などから多角的・多面的に探究していく。また、これらの学修を通して客観的に自分を見つめ、自己分析、自己理解を進め、教職への適性を把握し、これからの課題の明確化を図る。

なお本講義では現職教員や教育実習を経験した上級生をゲストスピーカーとして2回程度招聘する。

2. 授業の到達目標

- (1) 教職について関心をもち、教職の意義、教師の役割、職務内容、研修等、基礎的・基本的な事項について、積極的に調べ、考え、表現することができる。
- (2) 自己の資質向上に努めるとともに、能力・適性について洞察を深め、教職への理解、目的意識、学習意欲の有無を自らに問い、教職課程履修の継続を責任を持って判断することができる。
- (3) 教職志望の目的や理由、目標達成を目指す教職課程修得への決意や学習計画について、筋道を立てて分かりやすい文章で説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業での学習活動の状況(20%)、課題レポート(30%)、試験(50%)を総合して評価する。
- ・課題レポートの作成・提出は、本科目の必要条件となっており、提出のない場合は単位修得はできない。

4. 教科書・参考文献

教科書

共通のテキストは使用しない。

参考文献

参考文献等については適宜紹介したり、必要な資料を配付したりする。

5. 準備学修の内容

- ・授業において推奨されたり、課題として取り上げられた図書については必ず読んでおくこと。
- ・新聞や雑誌等において扱われる学校教育・教師に関する記事などに関心を持ち、記事等を収集し、感想や意見をまとめておくこと。
- ・教育用語についての理解を深めるよう、復習に努めること。

6. その他履修上の注意事項

- ・教職課程を履修する学生は、先ずこの科目を学び、単位を修得することが必要条件である。毎回の授業内容を確実に理解し、自己の進路の選択に生かしていかななくてはならない。
- ・一部の授業内容が欠けても教職課程全体の履修に影響するので、全回出席を目指すことを基本とする。
- ・授業態度や学習活動については、教員の指導をしっかり受け止め、授業内容にかかわる課題(宿題)に取り組むこと。また、教職への適性を探り、自分の教職課程の履修の是非を見定めること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション・教職とはなにか
・授業の目標、内容、進め方、成績評価について理解する。
・教職とは何か、なぜ教職を目指すのかについて考える。 |
| 【第2回】 | 様々な教職像から教職の魅力を考える
・自己の幼稚園や小学校での経験を振り返り、教職の魅力、教師の生きがいについて考える。
・自己の教師としての適性を考え、グループ内でプレゼンテーションする。 |
| 【第3回】 | 教師になるために大学で学ぶこと
・大学における教員養成の目的や内容、仕組み、取得できる資格等について理解する。
・「期待される教師像」について検討し、大学における授業科目との関係から、自分が教職課程でどのように学ぶべきかを考える。 |
| 【第4回】 | 学校教育と教職の歴史
・我が国における学校教育と教職の歴史を概観する。 |
| 【第5回】 | 学校教育の目的と教師の役割
・教育関連法規等をもとに、学校教育の目的を理解する。
・学校教育における教師の役割を考える。 |
| 【第6回】 | 教職の特性と教職観
・他の職業には見られない教職の特性をグループで検討する。
・教職の専門性とは何か、また「学び続ける教師像」とは何を目指しているのかを考える。 |
| 【第7回】 | 教師の職務
・教師の一日の過ごし方や仕事内容、教師としての生涯(ライフサイクル)を理解し、教師の生きがいを考える。 |
| 【第8回】 | 教師の教育活動(1)教育課程と教師
・教育課程とは何かを理解し、学習指導・生徒指導のもつ機能や意義を考える。 |
| 【第9回】 | 教師の教育活動(2)授業と教師
・幼稚園、小学校では、子供たちはどのような内容を学習するのかを、教科書等の内容から調べる。
・教師はいつ、どのように授業を計画し、実施するのかを理解し、そのために自分は教職課程においてどのような力を身につける必要があるかを考える。 |
| 【第10回】 | 教師の教育活動(3)学級担任としての教師
・学級担任の職務、学級経営の意義、学年教師と連携した教育活動について理解する。 |
| 【第11回】 | 学校組織と教師の仕事
・幼稚園、小学校の学校組織特性を理解し、教師の役割をディスカッションする。
・学校運営とは何かを理解し、校務分掌組織から、教師の協働を考える。 |

- 【第12回】 教員の身分と服務
- ・教員の任免、服務規律について理解する。
 - ・分限と懲戒について理解する。
- 【第13回】 資質向上と研修
- ・教師にとっての研修の意義と教育公務員としての教員研修制度について理解する。
 - ・ライフステージに応じた研修制度について理解する。
- 【第14回】 求められる教師像と教員採用選考
- ・教育委員会が求める教師像を調査し、検討する。
 - ・教員採用選考の仕組みを理解し、その準備について見通しを持つ。
- 【第15回】 教師になることをめざして(まとめ)
- ・教職論での学修を踏まえて「いま、求められる教師とは」を検討する。
 - ・自己の教師としての適性を吟味する。